

第4章 圧力調整器の選定と設置

4.1 圧力調整器の選定

LP ガス用圧力調整器に求められる機能は、燃焼器具を使用する時に、要求されるガス量とガス圧を供給し、正常な燃焼を保つことである。

この機能を満足させるため、4.1.1～4.1.3 の3項目を勘案して機種選定を行うこと。

4.1.1 LP ガスの消費量に適合した圧力調整器の選定

消費量に適合した調整器は、戸別供給、集団供給、業務用の供給形態別に算定式にて求めることができる。圧力低下を防ぐために将来の需要量増加等も勘案し、ガス消費量に対して十分余裕のある容量の調整器を設置すること。

(1) 戸別供給方式

戸別供給で使用する調整器の容量は、設置する全ての燃焼器具の1時間当たりのガス消費量(kW)の合計を最大ガス消費量として下記の式で算定する。

(算定式)

$$\text{調整器容量 (kg/h)} \geq \frac{\text{最大ガス消費量 (kW)}}{14} \times 1.5$$

- ※1 設置する燃焼器具の詳細が判明しない場合は、消費者の家族構成等を考慮し、表4.1の標準ガス消費量を参考に算定すること。
- ※2 集中監視等により供給圧力の常時監視を行っている場合、②二段減圧式調整器または自動切替式調整器を使用している場合——については、算定式から「×1.5」を控除することができる。ただし、将来の需要増などを考慮すること。
- ※3 燃焼器具の設置数が多く、かつ、自動切替式調整器を用いている場合は、燃焼器の同時使用率(70～100%)を考慮して最大ガス消費量を決定することできる。ただし、個別燃焼器具のガス消費量を下回ってはならない。

表4.1 燃焼器具別標準ガス消費量の参考値

燃焼器具の種類	消費量 (kW)	燃焼器具の種類	消費量 (kW)
32号給湯器	69.2	衣類乾燥機	4.7
24号給湯器	52.3	浴室暖房機	7.2
20号給湯器	43.6	ガスストーブ	3.3
16号給湯器	34.9	グリル付テーブルコンロ	9.7
5号湯沸器	11.0	ガス炊飯器	2.3
給湯器追焚機能	11.6	一口テーブルコンロ	2.3
風呂釜8号	17.9	GHP (16馬力)	10.0
風呂釜追焚機能	9.8	燃料電池	2.2～2.9
ガスエアコン	6.4	エコウィル	4.9
ガスファンヒーター	3.5	温水床暖房 (16畳)	7.0